

専門学校で活躍する CT

学校法人日本医療大学 日本福祉看護・診療放射線学院の利用状況

札幌の清田にある日本福祉看護・診療放射線学院の横山です。

『北海道CT遠友ser会』会員の皆様に当学院のCT更新と学生実習の利用状況ご報告いたします。当学院の設立は1989年に「日本福祉学院」が開校いたしました。1991年に専門学校として改組され、1993年に「学校法人つしま記念学園」の設立と同時に設置された東芝「Asteion」シングル（写真1）が、7月末から16列「Alexion」（写真2）に入れ替えを行いました。



写真 1. 10年間当学院で活躍した『Asteion』



写真 2. CT 調整中の 16 列「Alexion」

当学院の CT 実習室は 3 階にあり、教室の外側に写真（写真 3）のような「やぐら」を組み、窓から搬入いたしました。



写真 3. 教室の外壁に作られた「やぐら」

この10年間「Asteion」を使用して学生は様々な基礎実習を行ってきました。現在は新しくなった16列CT「Alexion」を使って学生（主に2,3年生）たちは、CTDIの測定（写真4）をはじめ空間分解能の測定（ワイヤ法）、CNR測定、スライス感度プロファイル測定、時間感度プロファイルなど様々な基礎実験を行っています。



写真4. CTDIの測定

またファントムや臨床データを元にVR,MIP,VE（写真5）などの画像構築をワークステーションで作成して臨床に対応できる知識・実技を身につけるようにCT担当の教員（写真6）が指導を行っています。更に新しいCTと同時に設置されたオートインジェクターを使用してTDC（Time Density Curve）の実習も予定しています。来年度卒業の9期生達からは就職と同時に、より実践的な放射線技師としての活躍が期待されています。

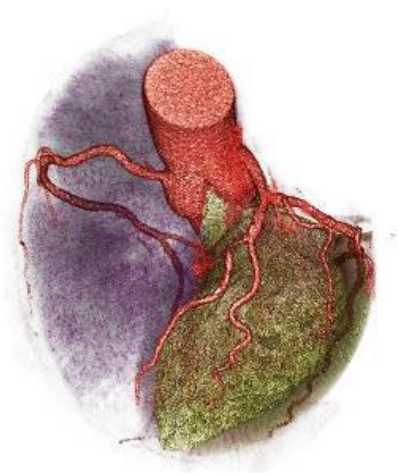


写真5. 心臓VR像—学生作成



写真6. CT担当の藤原先生, 現役の大学院学生でもある